

会計事務所 200%活用レター

Vol.139 2015.08

このレターは、お客様との最近の面談や、セミナーなどで感じたことをお伝えしています。お時間があるときにでもご笑読頂ければ幸いです。

【情報の共有】

創業140周年を迎える名門企業の東芝が不正経理により、大きな問題になっています。利益優先から経理チェックシステムも無効化されていたようです。

我々がお付き合いする企業の場合、上場会社のように経理を公開することはほとんどありませんが、数字をベースにして経営の舵取りをされる経営者は多くいます。

しかし、経営情報が社内に公開されていないと、社員さんたちは、今どこにいるのか、どこに向かっているのかがわかりません。

自分たちの将来がどうなるか、やりがいをもって仕事ができるのかということが伝わらないので、せっかくの戦力が分散されるのです。

「数字を公開できるのは業績のいい企業だけだよ。」と思われるかもしれませんが、悪いときほど公開して、社員の協力を仰いだ企業がいい結果を出したケースをたくさん見てきました。

数字を公開していく事は覚悟が要りますが、その覚悟が結果を導くのだと私は確信しています。